

## 令和5年度第3回柳井警察署協議会会議録

開催日時	令和6年2月5日（月） 午後3時00分から午後5時15分までの間	
開催場所	柳井警察署 講堂	
出席者	委員	田代委員、川寄委員、福永委員、柳澤委員、財満委員、秋枝委員、 西山委員、柏谷委員  計8名
	警察署	署長、主幹、警務課長、生活安全課長、地域第一兼第二課長、 地域第三課長、刑事課長、交通課長、警備課長  計9名
議題	1 警察業務の推進状況 2 交通事故抑止対策の推進	
<p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>新年を迎えて早々、能登半島地震等で多くの方がお亡くなりになられ、大変な年明けとなってしまった。被災された方々が大変な時に、火事場泥棒をする悪質な者もいると聞き、警察も大変だと感じている。また、山口県警察からも石川県に災害派遣されているとのことであるが、安全第一、無事故で勤務してほしい。</p> <p>山口県にも活断層があり、南海トラフ地震の予想なども踏まえると、いつ、どんなことが起こるか分からないので、皆様方におかれても、災害時を意識しながら行動してもらいたい。</p> <p>さて、柳井警察署協議会も今年度最後の第3回となったが、私たち協議会委員の意見でより良い警察署となるよう、会議をより活性化させていきたいと考えているので、忌憚のない意見等をお願いします。</p> <p><b>2 署長挨拶</b> (省略)</p> <p><b>3 業務説明</b></p> <p>(1) 警務課関係</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 警察安全相談</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 警察署メールマガジンの配信</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 行事</p> <p>(2) 会計課関係</p> <p style="padding-left: 20px;">遺失物取扱状況</p>		

- (3) 生活安全課関係
  - ア 犯罪抑止関係
  - イ 県内のうそ電話詐欺被害
- (4) 地域課関係
  - ア 110番・署通報受理状況
  - イ トータルリスポンスタイム
  - ウ 110番に関する広報活動
- (5) 刑事課関係
  - ア 刑法犯認知・検挙状況
  - イ 重要犯罪等認知・検挙状況
  - ウ 暴力団犯罪検挙状況
  - エ 薬物事犯検挙状況
- (6) 警備課関係
  - テロ対策訓練

#### 4 業務説明の協議

##### (委員)

警察安全相談の件数については、受理件数が多い方が良いのか、それとも少ない方が良いのか。相談件数が少なければ地域住民の悩みも少なく、安全・安心が保たれている状態と考えてよいのか。

また、警察の業務とは関係ない相談もあるのか。

##### (警務課長)

相談の件数が多いから治安が悪い、少ないから治安が良いというものではない。警察業務とは関係のないものもあるが、警察への情報提供として捉えている。

##### (委員)

特殊詐欺に関して、自宅に〇〇対策室と名乗る者から電話があり、「気を付けてください。」などと注意喚起を受けたが、そのような電話をかけているのか。

##### (生活安全課長)

そうした注意喚起の電話であれば、通常はコールセンターからかけているが、今の話だけでは、金銭を要求する詐欺事件の電話である可能性も否定できないので、その際は警察署に通報していただきたい。

##### (委員)

私が参加している老人クラブでは、警察署から防犯や交通安全に役立つビデオを借りて視聴しているが、今後は詐欺に関するものもお借りしたいと考えている。

##### (委員)

地域課の業務説明で、離島の小学生に制服を着てもらおうという企画があったが、子供たちに警察の仕事を理解してもらおう良い機会になるので、今後も継続すべきだと思う。

#### 5 諮問事項の協議

**(委員)**

高齢者が引き起こした悲惨な交通事故を目にすると、運転免許証の返納については本人からの申出だけでなく、その子供が返納を強く促すことも必要だと感じた。

**(委員)**

運転免許証を返納することで得られるメリットについて、警察から大々的に広報すべきだと思う。

**(委員)**

高齢者が運転免許証を返納した場合、希望者にのみ証明書を発行していると思うが、割引等の恩恵もあるので全員に発行してほしい。警察も広報しているとは思いますが、発行を希望しなかった方が店舗のレジでもめると聞いたことがある。

**(委員)**

横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる場合、車両は停止して歩行者を先に横断させるということが定着してきたと感じるが、横断歩道付近で井戸端会議をしていると運転者は分かりづらく困惑するので、歩行者に対する教育も必要だと思う。

**(交通課長)**

委員の気持ちも分かるが、現行の道路交通法では横断歩道付近に人がいれば徐行義務があるとされている。渡ろうとしているかどうかは、ある程度近づかないと分からないことも多いので、運転する以上、減速して歩行者の動静を見極める必要がある。

**(委員)**

週末、周防大島町には県外ナンバーの車両が多く入ってくるが、横断歩道で歩行者を優先しないことが多いと感じているので、取締りを強化してほしい。

**(委員)**

過去には、横断歩道に人がいる場合、運転手から見て左側であれば止まって歩行者を横断させる、対向車線側であれば止まらなくてもよいと習った記憶がある。道路交通法は時代とともに変化しており、改正されたことをもっと広報すべきだと思う。

また、歩行者についても、ハンドサイン等のマナーを浸透させるべきである。

**(委員)**

ヘルメットの着用率について、小学生や中学生はルールを守って着用しているが、高校生になると着用率が下がり、大人になると更に下がっているように感じる。着用率が低い年代に対する広報や指導が必要だと思う。

**(委員)**

山口県立柳井高等学校では、生徒や保護者に対し、メールを活用してヘルメット着用を推奨している。

**(委員)**

ヘルメットを着用していない生徒は校内に入れないなど、厳しい指導も必要ではないか。

**(交通課長)**

山口県立熊毛南高等学校は、自転車安全利用モデル校としてヘルメットの着用率向上に努めており、現在では自転車を使用する生徒全員がヘルメットを所有しているとのことである。

**(委員)**

少年相談員として、自転車の鍵かけを推奨すべくJR田布施駅前で立哨しているが、今後はヘルメット着用も呼びかけるべきだと感じた。

**(委員)**

私は、平生町内で交通安全の立哨をしているので、自転車乗車時のヘルメット着用も推奨していきたい。

**(委員)**

田布施中学校では、ヘルメットだけでなく反射材付きのチョッキも着用しており、良い取組だと感じた。

**(委員)**

現在、ヘルメット着用は努力義務となっているが、今後は法律で義務化された方がよいと思う。

**(交通課長)**

ヘルメット着用については昨年4月から努力義務となっているほか、県の教育委員会から、今年4月からはヘルメットを着用しないのであれば自転車通学を認めないと聞いている。

**(委員)**

法律が変わる際、学生は「自分が〇年生になったら法律でヘルメットが必要になる。」と受け止める傾向にあると聞いた。学校では、そのような指導方法を用いて、4月からのヘルメット着用を周知すればよいのではないかと感じた。

**(委員)**

自転車と車両が衝突する動画を視聴したが、かなり強く衝突しても大事には至らなかったと聞き、ヘルメット着用の重要性がよく分かった。こうした動画を少しでも多くの人に視聴してもらい、その重要性を広報していただきたい。

また、ヘルメットの恩恵により死亡事故に至らなかった件数を集計し、公表すべきだと感じた。

**(委員)**

大島大橋を自転車で通行している人を見かけるが、ヘルメットを着用していない人が多いと感じるので、指導を徹底してほしい。

自転車で大島大橋を通行するときは歩道を通り、周防大島町に渡ってから車道を通行すべきだと考えているが、そのまま歩道を通行している自転車に対しては指導が必要ではないかと感じた。

**(交通課長)**

現状を確認した上で、指導や取締りを徹底してまいりたい。

**(委員)**

親が小学校や保育園等に子どもを送る際、出勤で急いでいるのか、スピードを出

し過ぎていたり、チャイルドシートに座らせていなかったりするので、警察には指導や取締りを行ってもらい、学校や保育園にはマナーに関する指導をしていただきたい。

**(交通課長)**

危険な運転については、現状を確認の上、速度取締り等を実施していく。

**(委員)**

保護者に対して、チャイルドシートの使用などを促している園もある。

**(委員)**

交通安全学習館はどこにあるのか。また、予約が必要なのか。

**(交通課長)**

山口市の山口県総合交通センターにあるので、事前に問合せや予約をしてから利用していただきたい。

**6 配布資料**

業務説明資料（警察署作成）

**7 次回警察署協議会開催日程**

次回警察署協議会は令和6年6月頃に開催予定とした。